

前年度比 **2.6%減**  
**1500万円**

### 一般会計予算の特徴

町税収入の2億1100万円減等により、自主財源比率が57.2%（▲3.2%）に低下した。  
 玉村中学校建設事業の完了などにより公共施設工事関係費用が大きく減少したが、子ども手当支給事業等の大幅な支出増加もあり、総額では前年度比2億6100万円の減少となった。  
 厳しい財政状況の中だが、借入金に過度に依存することなく（年度末借入金残高は4000万円減）策定された予算である。

**予算内容をチェック！**  
 特別委員会での質疑は4・5ページに掲載



平成22年第1回定例会は、3月3日から16日までの会期で開かれました。初日は、町長から平成22年度の施政方針が示されました。続いて新年度予算（8会計）ほか条例制定・補正予算・人事案件など27議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。  
 一般質問は13議員が登壇し、3日間にわたってさまざまな角度から町の姿勢をたどりました。  
 最終日には、追加提案された工事請負契約締結に関する2議案を可決したほか、新たな特別委員会を設置し、14日間の会期を閉じました。

### 反対です

3年先を見据えた施策及び経済不況対策がほとんど予算化されておらず、施政方針との一貫性もない。また、「小中学生広島体験研修派遣事業」は、思想教育のおそれがあり削除すべきだ

町田宗宏 議員

### 賛成です

税収の落ち込みが見込まれる中、財政収支を悪化させることなく、必要な事業をバランスよく配した予算と評価できる

原 幹雄 議員

## 新年度予算に対しての討論がありました

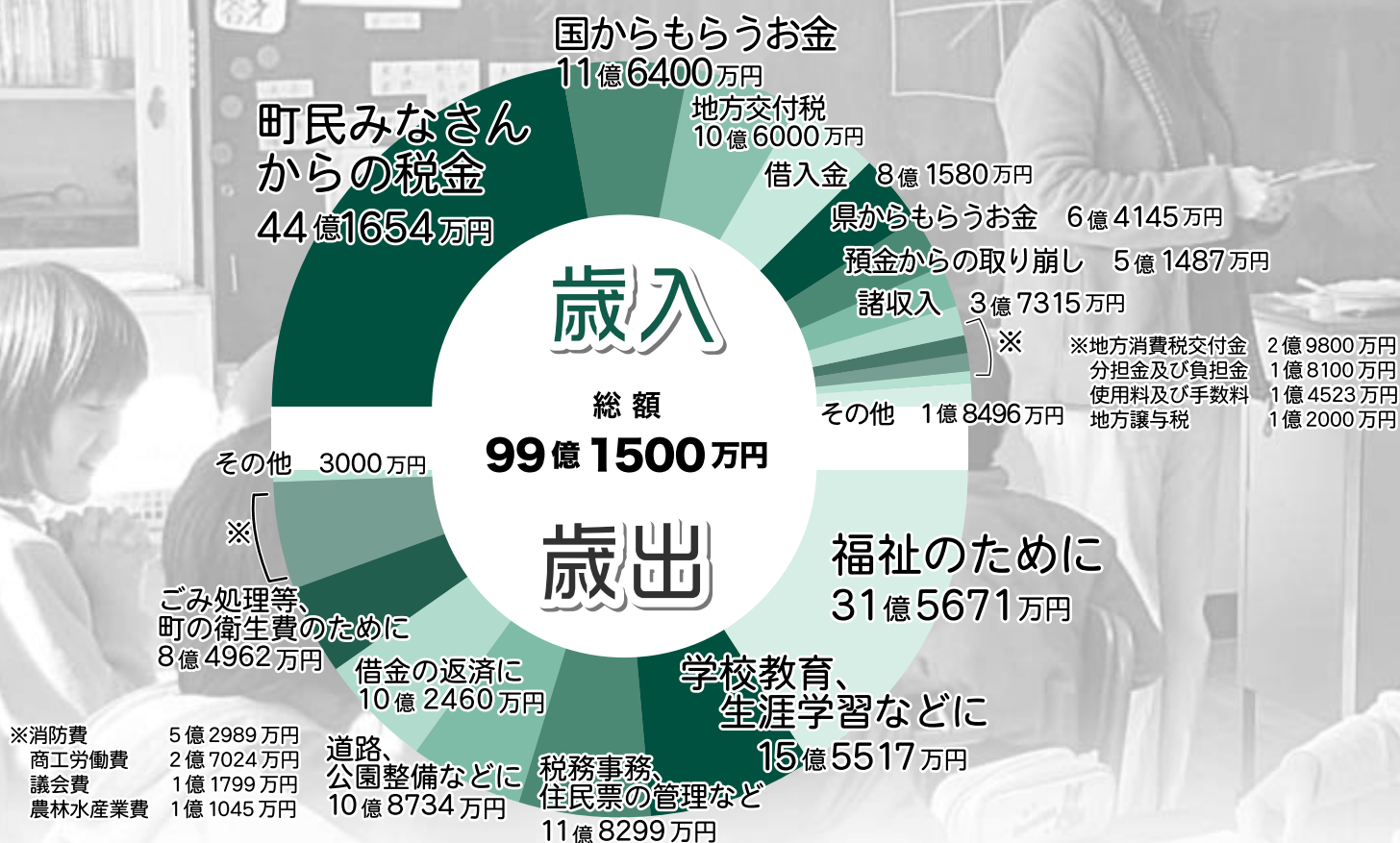
〔一般会計予算に対する討論〕

### 平成22年度 of 主な事業

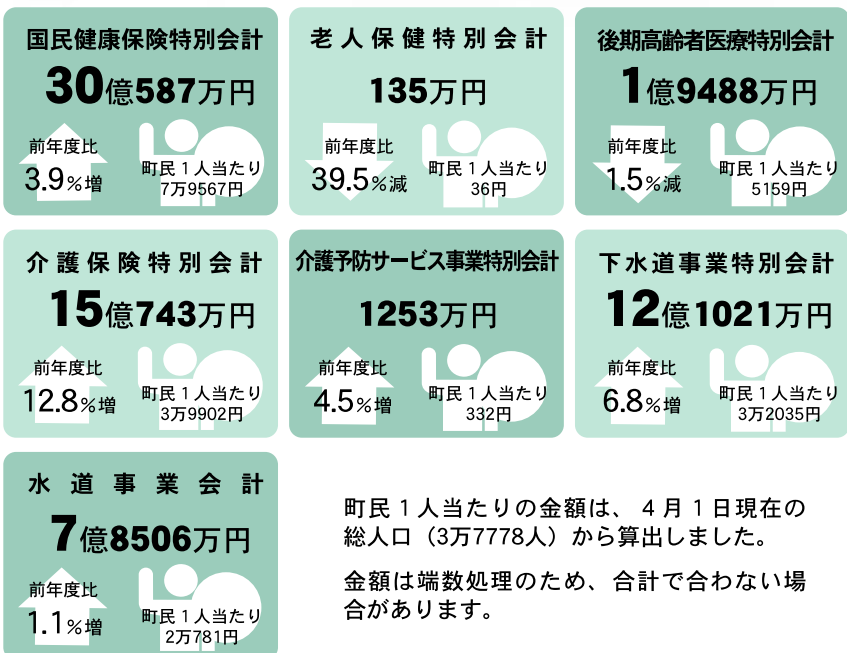
第5次総合計画策定事業	1251万円
協働推進センターの開設	224万円
第3保育所延長保育事業	40万円
〃 一時保育事業	424万円
子ども手当支給事業	8億4750万円
飼料用稲収穫機械整備事業	809万円
中小企業等緊急支援事業	2000万円
プレミアム付商品券発行事業	1200万円
消費生活センターの開設	764万円
消防車両整備事業	2100万円
防災行政無線整備事業	1億803万円
南中学校テニスコート拡張事業	5658万円

平成22年度  
一般会計予算

総額 99 億



特別会計・事業会計の予算額



**反対**です

図るといふ予算になつていない

町田宗宏 議員

下水道の整備を積極的に

**賛成**です

特にならぬ必要はない。必要な予算が確保されている

齊藤嘉和 議員

〔下水道事業特別会計予算に対する討論〕